

**「さいたま市地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業
～部活動の地域移行～」を推進しています**

**将来にわたり子どもたちが、地域の中で、自分の興味・
関心に応じて、スポーツや文化活動を楽しむために・・・**



「学校部活動」と「地域クラブ活動」の比較

学校部活動

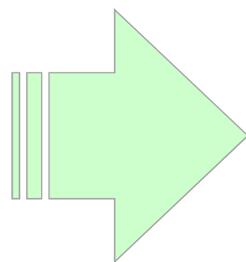
～学校単位での部活動～
例：〇〇中学校の▲▲部での活動

- 学校が主体**となつて行われる部活動
- 学校施設**で実施
- 複数校でまとまって1つの部活動を行う合同部活動の導入や、部活動指導員等の地域人材を活用することを推奨

地域クラブ活動

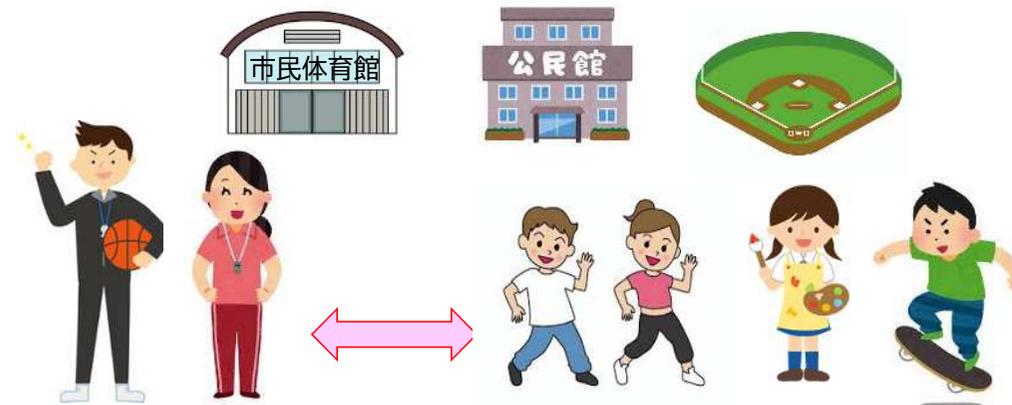
～地域単位でのクラブ活動～
例：〇〇地区の▲▲クラブでの活動

- 地域が主体**となつて行われる活動
- 自分の**興味・関心**に応じた種目選択
- 市民体育館、公民館、学校施設など、**多様な場所**で実施
- 多世代、他種目**な活動



教員

生徒



地域指導者

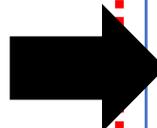
地域の子どもたち

総合型地域スポーツクラブや民間事業者などの地域人材

世代間などの多様な交流が考えられる

これまでの経緯(国と市)

	国の動き	さいたま市の動き
R2	<p>R2.9 <スポーツ庁・文化庁> 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」</p> <p>少子化への対応 教員の働き方改革</p>	
R3		<p>R3 <未来の教室 実証事業> ※経済産業省 全市アンケート調査 プロ選手指導者派遣</p> <p>R3 <地域運動部活動推進事業> ※スポーツ庁 5校・野球部</p>
R4	<p>R4.6/R4.8 <スポーツ庁・文化庁への提言> 「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」 「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」</p> <p>R4.12 <学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方 等に関する総合的なガイドライン ></p> <p>R5からの3年間を土日の地域移行「改革推進期間」 地域移行を見据え「部活動全員加入」を強制しない</p>	<p>R4 <未来の教室 実証事業> ※経済産業省 受益者負担モデル検証</p> <p>R4 <地域運動部活動推進事業> ※スポーツ庁 13校・12部活(野球・剣道・陸上など6種目)</p>
R5		<p>R5 <地域スポーツクラブ 活動体制整備事業> ※スポーツ庁 3校・土日に活動する全ての部活動</p> <p>R5 <さいたま市スポーツ・文化クラブ 活動体制整備研究協議会> 「研究協議会」(2回)ワーキンググループ会議(8回)</p>



本市の現状と課題

現状

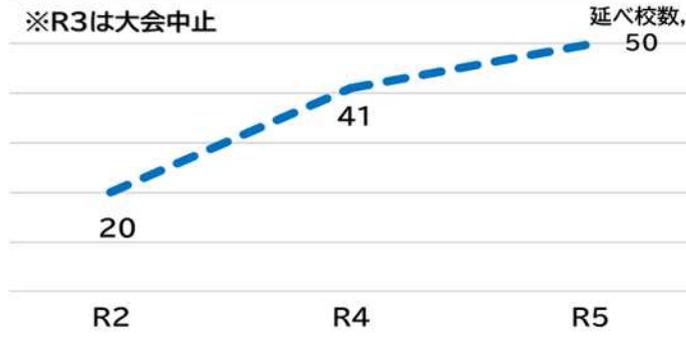
●学校部活動以外で活動している生徒数が増加



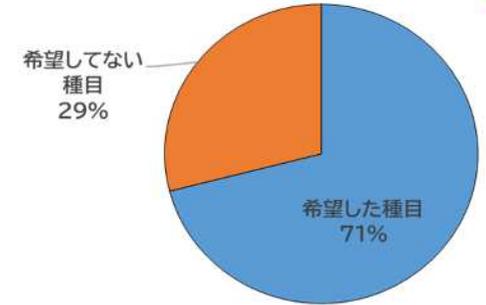
●運動部活動数の減少より、合同チームによる大会参加校数の増加

合同チームによる大会参加(新人体育大会)

※種目:野球・ソフトボール・バスケットボール・サッカー
※R2はバスケットボール以外の種目



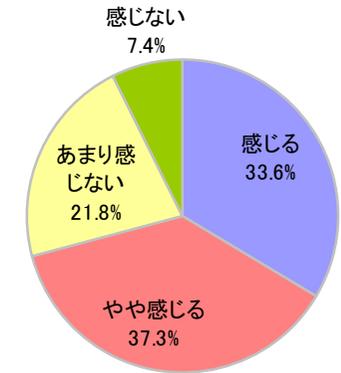
●希望した種目を担当していない教員が約3割 (R3アンケート調査より)



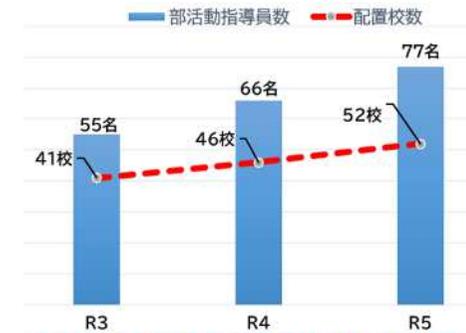
●顧問として負担を感じている教員が約7割

✓ 要因は「校務と部活動の両立」が多かった。

(R3アンケート調査より)



●部活動指導員数と配置校数及び配置人数は年々増加



課題

- ✓ 学校部活動に設置されている種目が子どもの多様なニーズに必ずしも対応できていない。
- ✓ 部活動の指導を担う教員の負担が増加している。

土日の地域スポーツ・文化クラブ活動

- 子どもの多様なニーズに応じた部活動体制の構築
- 持続可能な文化・スポーツ活動の環境づくり

令和5年度の取組について

さいたま市地域スポーツ・文化活動体制整備研究協議会

・学校教育部
・管理部
・生涯学習部
・スポーツ部
・文化部

関連部長会

ワーキンググループ会議 (WG)

I ビジョン

子どもの将来のスポーツ・文化環境の構築に係るビジョン策定に向けた検討

II 財源・施設

持続可能な財源や施設の活用について検討

III モデル校の検証

地域移行に向けたモデル事業について検証

< 委員 >

さいたま市教育委員会 教育長
さいたま市教育委員会 副教育長
さいたま市教育委員会 学校教育部長
さいたま市スポーツ文化局 スポーツ部長
さいたま市スポーツ文化局 文化部長
さいたま市小・中・中等・高等学校校長会の代表者
体育部活動の代表者(さいたま市中学校体育連盟)
文化部活動の代表者(さいたま市中学校吹奏楽連盟)
研究実践校の代表者
(公財)さいたま市スポーツ協会の代表者
さいたま市総合型地域スポーツクラブの代表者
(一社)さいたまスポーツコミッションの代表者
プロスポーツチームの代表者
(公財)さいたま市文化振興事業団の代表者
さいたま市文化協会の代表者
さいたま市美術家協会の代表者
埼玉県野球協会の代表者
さいたま市スポーツアドバイザー
地域保護者の代表者
部活動地域移行に係る統括団体の代表者

ワーキンググループ会議の取組

I 「ビジョン」部会 (全8回)

【取組】

<構成メンバー>

- 市スポーツ協会の代表者
- 市文化振興事業団の代表者
- 総合型地域スポーツクラブの代表者
- 教育委員会事務局職員
- スポーツ文化局職員

◆「さいたま市子どものスポーツ文化環境構築ビジョン」策定に向け、それぞれの立場から意見を出し合い、事業方針や今後の方向性について検討した。

II 「財源・施設」部会 (全8回)

【取組】

◆地域人材の確保や持続可能な財源の確保について、意見交換を行った。

<構成メンバー>

- 教育委員会事務局職員
- スポーツ文化局職員



<ワーキンググループ会議>

ワーキンググループ会議の取組

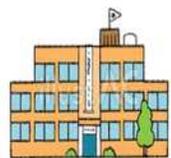
Ⅲ 「モデル校の検証」部会

<構成メンバー>

- 研究実践校の校長
- 市中学校吹奏楽連盟会長
- 市スポーツ協会の代表者
- 市中学校体育連盟会長
- 統括団体の代表者
- 市文化振興事業団の代表者

【モデル校の実践研究内容】

- ① 指導者を派遣する統括団体による3つのパターンのモデル事業の実施
- ② 土日に指導を希望する教員の兼職・兼業による指導の実施
- ③ 土日に活動する3校全ての部活動における地域移行の実践



市教育委員会

実践事例の検証

業務委託

統括団体

市スポーツ協会
総合型地域スポーツクラブ・NPO
法人・スポーツチーム・競技団体・
スポーツ関連企業 等

指導者の登録

- ① 指導者の募集・登録
- ② 指導者への謝金の支払い
- ③ 指導者への研修
- ④ 指導者・生徒の保険管理
- ⑤ 運営管理者の派遣



片柳中学校
生徒数：269人

まちクラブ連携型



美園南中学校
生徒数：736人

総合型地域SC連携型

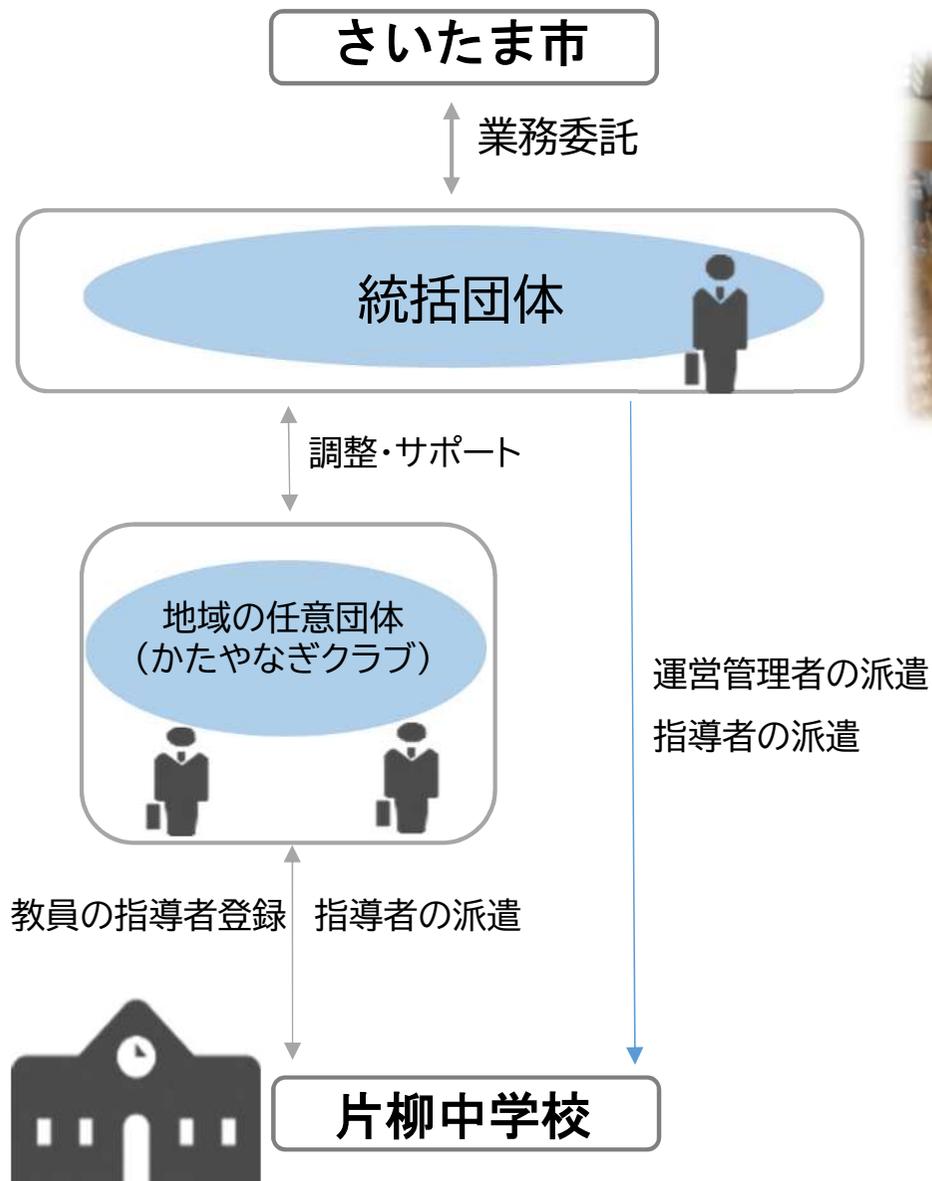


柏陽中学校
生徒数：306人

統括団体連携型

「モデル校の検証」部会(片柳中学校)

「まちクラブ連携型」: 統括団体が地域クラブと連携して運営



<卓球部の様子>



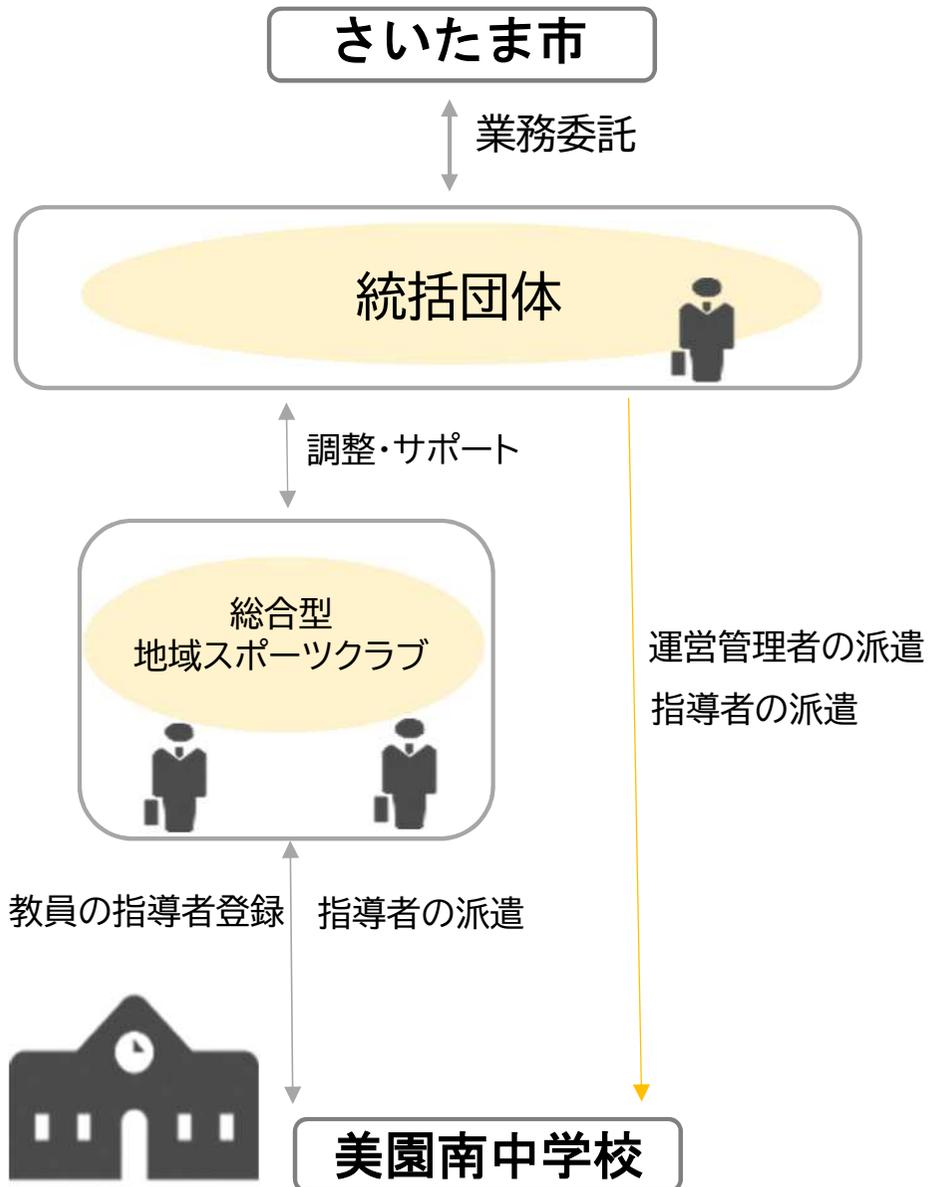
<吹奏楽部の様子>

設置クラブ

運動部	文化部
10部活で実施	3部活で実施
<ul style="list-style-type: none"> ● サッカー ● ソフトテニス(男女) ● 卓球(男女) ● 陸上 ● バドミントン(男女) ● バスケットボール(男女) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 吹奏楽 ● 美術 ● パソコン

「モデル校の検証」部会(美園南中学校)

「総合型地域SC連携型」: 統括団体が総合型地域SCと連携して運営



<部活動(ソフトボール)の様子>

設置クラブ

運動部

18部活で実施

- 野球
- サッカー
- バレーボール(男)
- バスケットボール(男女)
- 卓球(男女)
- ソフトテニス(男女)
- バドミントン(男女)
- ハンドボール(男女)
- 陸上(男女)
- 剣道(男女)
- ソフトボール

文化部

2部活で実施

- 吹奏楽
- SSTC(科学)

「モデル校の検証」部会(柏陽中学校)

「統括団体連携型」: 学校域を1つの統括団体で運営



<部活動(野球)の様子>

設置クラブ

運動部	文化部
11部活で実施	1部活で実施
<ul style="list-style-type: none">● 野球● サッカー● 陸上● ソフトテニス(男女)● 卓球(男女)● バレーボール(男女)● バスケットボール(男女)	<ul style="list-style-type: none">● 吹奏楽

令和5年度の成果や課題と令和6年度の取組

	成果	課題
I 「ビジョン」部会	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域の魅力や資源などの現状把握と分析 ➤ さいたま市子どものスポーツ・文化環境構築ビジョンの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ビジョンの策定に向けた様々な多様な意見、アイデアの反映
II 「財源・施設」部会	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 施設や持続可能な財源、人材の確保に向けた課題の洗い出し 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 持続的な財源や人材の確保に向けた具体的方策
III 「モデル校の検証」部会	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 土日に活動する3校45部活動の全てに統括団体から指導者を派遣 ➤ 専門性の高い指導者により生徒の意欲・技能が向上 ➤ 教職員の兼職・兼業の仕組みの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 教員・保護者・地域住民の意識改革 ✓ 指導者の数と質、クラブ費等の徴収



令和6年度の取組

I 「ビジョン」部会	・さいたま市子どものスポーツ・文化環境構築ビジョンの策定
II 「財源・施設」部会	・地域人材の確保や持続的な財源確保に向けた仕組みづくりの検証
III 「モデル校の検証」部会	・地域の特色や実態に応じた実践研究